

製品名: LPAAT-θ ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab13384**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:200-1:1000,ELISA 1:5000-1:20000
分子量	48kDa

抗原情報

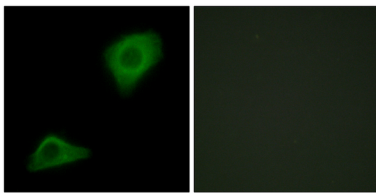
遺伝子名	AGPAT9
別名	AGPAT9; GPAT3; MAG1; HMFN0839; Glycerol-3-phosphate acyltransferase 3; GPAT-3; 1-acylglycerol-3-phosphate O-acyltransferase 9; 1-AGP acyltransferase 9; 1-AGPAT 9; Acyl-CoA:glycerol-3-phosphate acyltransferase 3; hGPAT3; Lung cancer metastas
遺伝子 ID	84803.0
SwissProt ID	Q53EU6
免疫原	抗血清はヒト AGPAT9 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 381-430

背景

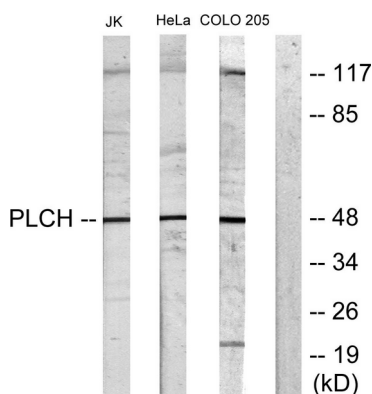
この遺伝子は、リゾホスファチジン酸アシルトランスフェラーゼタンパク質ファミリーのメンバーをコードしています。コードされているタンパク質は、トリアシルグリセロールの合成において、グリセロール-3-リン酸からリゾホスファチジン酸への変換を触媒する酵素です。同一のタンパク質をコードする複数の選択的スプライシングバリエーションが同定されています。[RefSeq 提供、2012年1月]、触媒活性: アシル CoA + sn-グリセロール 3-リン酸 = CoA + 1-アシル-sn-グリセロール 3-リン酸。、ドメイン: HXXXXD モチーフはアシルトランスフェラーゼ活性に必須であり、グリセロール 3-リン酸のリン酸部分の結合部位を構成する可能性がある。、酵素調節: N-エチルマレイミド (NEM) によって阻害される。、機能: グリセロ脂質合成において必須のステップである、アシル ACP のアシル基をグリセロール 3-リン酸の sn-1 位にエステル化する。過剰発現は mTOR 経路を活性化する。、経路: グリセロ脂質代謝; トリアシルグリセロール合成。、経路: リン脂質代謝; CDP-ジアシルグリセロール合成; sn-グリセロール 3-リン酸から CDP-ジアシルグリセロールを生成する: ステップ 1/3。、類似性: 1-アシル-sn-グリセロール-3-リン酸アシルトランスフェラーゼファミリーに属する。、組織特異性: 広く発現している。肝臓、腎臓、精巣、脳、心臓、骨格筋、甲状腺、前立腺、胸腺、胎盤。肺および脂肪組織にも発現する。、

研究分野

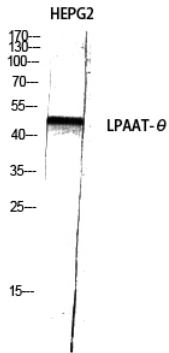
画像データ



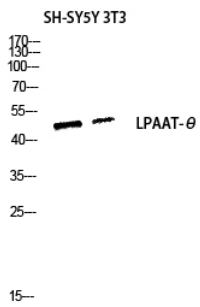
PLCH 抗体を用いた HepG2 細胞の免疫蛍光染色。右の写真は合成ペプチドでブロッキングした状態。



PLCH 抗体を用いた Jurkat 細胞、COLO205 細胞、HeLa 細胞、HUVEC 細胞のライセートのウェスタンブロット解析。右レーンは合成ペプチドでブロッキングされている。



LPAAT-θ ポリクローナル抗体 (1: 1000 希釈) を用いた HEPG2 のウェスタンブロット解析



LPAAT-θ 抗体を用いた SH-SY5Y 3T3 の溶解のウェスタンブロット解析。抗体は 1:1000 に希釈した。